



## 2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月8日

上場会社名 リソルホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5261 URL <https://www.resol.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 齊藤 達男 TEL 03-3344-8861  
 定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	28,400	10.4	2,681	26.3	2,566	31.8	1,950	38.1
2024年3月期	25,717	16.6	2,122	554.8	1,947	936.4	1,411	95.3

(注) 包括利益 2025年3月期 1,955百万円 (38.2%) 2024年3月期 1,414百万円 (90.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	350.98	—	12.7	5.9	9.4
2024年3月期	254.13	—	10.0	4.5	8.3

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	43,481	16,181	37.2	2,909.53
2024年3月期	43,003	14,666	34.0	2,634.33

(参考) 自己資本 2025年3月期 16,165百万円 2024年3月期 14,635百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	4,143	△2,011	△1,622	4,100
2024年3月期	3,610	△1,280	△3,963	3,590

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00	444	31.5	3.2
2025年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00	555	28.5	3.6
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	100.00	100.00		27.1	

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	5.6	3,000	11.9	2,800	9.1	2,050	5.1	368.97

(注) 2026年3月期につきましては年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無  
新規 一社、除外 一社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有  
② ①以外の会計方針の変更： 無  
③ 会計上の見積りの変更： 無  
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期	5,564,200株	2024年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期	8,026株	2024年3月期	8,695株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	5,555,995株	2024年3月期	5,555,544株

(注) 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については添付資料19ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（1株当たり情報の注記）」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	5,462	9.3	284	—	262	384.1	155	77.7
2024年3月期	4,996	11.9	△14	—	54	195.0	87	△83.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	27.93	—
2024年3月期	15.71	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2025年3月期	31,664		9,830		31.0	1,769.29		
2024年3月期	31,621		10,116		32.0	1,821.00		

(参考) 自己資本 2025年3月期 9,830百万円 2024年3月期 10,116百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当連結会計年度より百万円単位をもって記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更に関する注記) .....	14
(セグメント情報等の注記) .....	15
(1株当たり情報の注記) .....	19
(重要な後発事象の注記) .....	19
(その他) .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### <事業の経過及び成果>

当連結会計年度におけるわが国経済は、訪日外国人旅行者数が過去最高のペースで推移したことによるインバウンド消費の伸びや、雇用・所得環境の改善などを背景に緩やかな回復基調を維持しました。一方で、東欧・中東地域における地政学的リスクの継続、資源・エネルギー価格の高騰、中国経済の減速懸念、ならびに主要国における通商政策の動向などにより、景気の先行きに慎重な見方が強まる状況となりました。当社グループを取り巻く環境においては、好調なインバウンドマーケット、底堅いゴルフプレー需要、企業の人的資本投資拡大による研修需要の増加など堅調な状況が続いています。

このような経営環境のもと、インバウンド需要に向けたマーケティング施策の実施、ニーズを捉えた商品・ブランドの造成、ワンランク上のサービス提供や品質向上によるブランディング強化などにより既存事業の成長を図りました。また、新たな価値創造の取組みとして、フェアウェイの眺望が堪能できる高級ゴルフリゾート「フェアウェイフロントヴィラ事業」、「暮らすように泊まる。」をコンセプトとした滞在型貸別荘「リソルステイ事業」、プライベート温泉とドッグランを備えたリソルの森の「ペットヴィラ事業」(2024年10月に開業)を推進しました。

同時に、グループの価値基準「あなたのオフを、もっとスマイルに。」と長期方針である3つの「やさしい」(人にやさしい・社会にやさしい・地球にやさしい)の実践を図るため、サービス体制を強化してお客様の満足度向上に努めました。

以上の結果、ホテル部門における旺盛なインバウンド需要の取込みが計画を大幅に上回ったことや、前年取得した「入間カントリー倶楽部」の運営が通期で寄与し、運営事業の売上及び利益が増加し、売上高は28,400百万円(前期比10.4%増)、営業利益は2,681百万円(前期比26.3%増)、経常利益は2,566百万円(前期比31.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,950百万円(前期比38.1%増)となりました。

事業のセグメント別の主な状況は、以下のとおりでございます。

#### <ホテル運営事業部門>

ホテル運営事業では、旺盛なインバウンド需要を捉え、各ホテルにおいてアジア・欧州など地域特性に応じたプロモーション施策を積極的に展開した結果、客室単価・稼働率ともに順調に向上し、業績は好調に推移しました。主力ブランドである「リソルホテルズ」では、「物語のあるホテル」をコンセプトに、“ツーリストホテル”としての強みをいかしたブランド構築を進め、サービスと品質の向上に取組みました。特に「観る・食べる・体験する・買い物する」を提案することでホテルでの滞在をより充実したものにするコンシェルジュサービスを拡充。ホテル館内での日本文化体験イベントや、専任スタッフ「サービスコーディネーター」による周辺情報の案内などを実施し、お客様のニーズを満たすサービス提供を図りました。

新規事業の“リソルステイ事業”では、「暮らすように泊まる。」をコンセプトに滞在型貸別荘「スイートヴィラ」の施設数を拡大し、利用ニーズに応じて選べる3つの滞在パターン(ウィークリー・マンスリー・デイリー)を推進した結果、リゾート地での避暑・避寒目的の中長期利用や、インバウンド、大人数での利用が増加し、宿泊数は順調に増加しました。

以上の結果、ホテル運営事業部門における売上高は14,888百万円(前期比20.5%増)、経常利益は2,514百万円(前期比90.9%増)となりました。

#### <ゴルフ運営事業部門>

ゴルフ運営事業では、コース・クラブハウスの上質化、ホスピタリティの強化などでゴルフ場全体の品質向上に努めたことで、客単価上昇、会員権販売につながりました。また、インバウンド集客においては専門チームを新設し取組みを強化。“フェアウェイフロントヴィラ事業”を展開する「瀬戸内ゴルフリゾート」では、韓国を中心としたアジア諸国からの宿泊を伴うゴルフ利用が好調となりました。

さらに、「大熱海国際ゴルフクラブ」において2026年度の開業に向けた新たなフェアウェイフロントヴィラの開発準備を推進しました。

以上の結果、前年に取得した「入間カントリー倶楽部」の運営が通期で業績に寄与したものの、夏場の猛暑や台風、2月・3月の天候不順など気象要因の影響を受け、ゴルフ運営事業部門における売上高は8,357百万円(前期比3.1%増)、経常利益は933百万円(前期比11.2%減)となりました。

#### <リソルの森事業部門>

リソルの森事業では、グループのランドマーク施設である体験型リゾート「Sport & Do Resort リソルの森」の運営とエリア内の不動産や会員権販売の事業を展開しました。

ゴルフ部門(真名カントリークラブ)では、コースメンテナンスの向上やクラブハウス内施設の更新などお客様サービスの上質化に努めたことで、客単価の上昇及び会員権販売に繋がりました。また、リゾートエリアに滞在しながらゴルフを楽しむ「ゴルフ&ステイプラン」の利用において、空港間の送迎実施を開始したことで、インバウンドの受注が大きく伸びました。

リゾート部門では、2024年10月に愛犬と泊まれる高級ヴィラエリア「Dear Wan Spa Garden」が開業し多くのお客様の支持を受け、計画を大きく上回る売上となりました。また、企業の人材投資意識の高まりにより「合宿・研修」の受注が大幅に増加。新たにオープンした会議や研修に特化した総合カンファレンスホテル「ハイブ

リッドコモンハウス」を含め宿泊施設の稼働が増加した他、飲食や会議室、各種プログラムの利用などの付帯売上も好調となりました。

以上の結果、リソルの森事業部門における売上高は3,974百万円(前期比8.6%増)、経常利益は304百万円(前期比24.9%増)となりました。

<福利厚生事業部門>

福利厚生事業では、競合他社と差別化された3つのプラン、利用実績に応じて補助金を精算・返金する透明性の高い「精算プラン」、提携外施設も利用可能なカスタマイズ性の高い「カフェテリアプラン(プラスユアチョイス)」、宿泊に特化し利用実績分のみを支払う「従量制プラン」を強みに、新規顧客の開拓に注力しました。また、新たな営業ツールの導入による積極的な営業活動により新規受注は順調に増加しました。加えて、テレビCMなどのプロモーション活動を実施しました。

さらに、既存会員の利用促進を図るため、魅力的なサービスメニューの開発と利便性向上に努め、業績は順調に推移しました。

以上の結果、福利厚生事業部門における売上高は965百万円(前期比6.8%増)、経常利益は62百万円(前期比36.2%増)となりました。

<再生エネルギー事業部門>

再生エネルギー事業では、売電事業および自家消費型事業を中心に展開。売電事業については、リソルの森の施設内において1.5MWの太陽光発電設備を運営し、年間約140万KWの売電を実施。また、自家消費型事業については、「入間カントリー倶楽部」において当社グループのゴルフ場では4ヶ所目となるソーラーカーポートの建設工事を実施し2025年2月より稼働を開始しました。今後もこれまで培った知見をいかし、ゴルフ場を中心に自家消費型事業を展開し、「地球にやさしい」企業グループを実践します。

以上の結果、再生エネルギー事業部門における売上高は103百万円(前期比6.3%増)、経常利益は53百万円(前期比138.7%増)となりました。

<投資再生事業部門>

投資再生事業では、福島県にある旧ゴルフ場の所有地の一部を販売用不動産として太陽光発電事業者へ売却しました。また、市場環境を見据えながら、新規運営施設の仕入れ等の検討を進めました。さらに、ヴィラ建設によるゴルフ場のリゾート型再生、ゴルフ場の再生可能エネルギー用地への転用、海外へのホテル及びゴルフ事業の展開等、今後も新規事業構築を推進します。

以上の結果、投資再生事業部門における売上高は111百万円(前期比81.3%減)、経常利益は22百万円(前期比95.2%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては、前年同期比477百万円増加し、43,481百万円となりました。現金及び預金が509百万円増加、有形固定資産が358百万円増加したものの、繰延税金資産が217百万円減少、無形固定資産(その他)が153百万円減少等が主な要因です。

負債につきましては、前年同期比1,036百万円減少し、27,300百万円となりました。預り保証金が1,002百万円減少したこと等が主な要因です。

純資産につきましては、前年同期比1,514百万円増加し、16,181百万円となりました。利益剰余金が1,505百万円増加したこと等が主な要因です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の増加が4,143百万円、投資活動による資金の減少が2,011百万円、財務活動による資金の減少が1,622百万円により当連結会計年度期首残高より509百万円増加いたしました。

その結果、当連結会計年度末は4,100百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果、増加した資金は4,143百万円となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益2,311百万円、減価償却費1,179百万円、減損損失476百万円、その他の負債の増加175百万円があったこと等によるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果、減少した資金は2,011百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出2,006百万円があったこと等によるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果、減少した資金は1,622百万円となりました。

これは主に短期借入金の純減額1,201百万円、配当金の支払額443百万円があったこと等によるものです。

<キャッシュ・フロー指標のトレンド>

	第128期 2021年3月期	第129期 2022年3月期	第130期 2023年3月期	第131期 2024年3月期	第132期 2025年3月期
自己資本比率(%)	34.8	34.5	31.6	34.0	37.2
時価ベースの自己資本比率(%)	59.8	62.5	62.6	70.3	63.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	3.1	7.7	12.5	4.2	3.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	16.8	7.4	5.4	16.8	16.9

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く事業環境は、訪日客数について中長期的には年間4,000万人超が安定的に見込まれることや、日本政府が掲げる2030年に6,000万人という数値目標を背景に、インバウンド需要が継続的に拡大することで引き続き好調な状況が見込まれます。

当社グループでは、運営事業におけるインバウンド需要の取込みを加速するとともに、独自の強みをいかしながら新たな価値創造とブランド力の強化を通じて、事業拡大に努めてまいります。

ホテル運営事業では“ツーリストホテル”としての独自の強みをいかしたポジショニングを強化し、ブランドの確立を推進し他社との差別化を図ります。特に、専任の「サービスコーディネーター」を「リソルホテルズ」ブランドの各施設に配置し、お客様の旅に寄り添うコンシェルジュサービスの強化することで、顧客満足度の向上とリピーター創出に努めてまいります。

ゴルフ運営事業では、夏場の利用者減少への対策として、全コースでのクーラー付きカートの導入や、フェアウェイ乗り入れ、暖地型芝への転換などによるコースメンテナンス強化を推進し、オフピーク時の稼働率平準化と収益力強化の実現を目指します。将来的な国内プレーヤー人口の減少を見据え、インバウンド集客体制の整備を進めてまいります。なかでも、“フェアウェイフロントヴィラ事業”では、ゴルファーはもちろん観光を目的としたツーリスト層にも対応できる、ワンランク上の高級リゾート化を目指します。また、VR・AR・XR等のデジタル技術の活用を通じ、リアルとバーチャルの相乗効果を創出する新たな事業展開の可能性を検討してまいります。

さらに、財務の健全性を意識しながら、戦略的なM&Aによるゴルフ場の取得と計画的なホテルの出店、新たな宿泊サービスによる多様化への対応、海外への事業進出の検討などにより継続的な事業拡大を進めてまいります。事業規模の拡大に伴う人材確保と育成も重要な課題と捉え、採用・人材開発体制の強化を進めてまいります。人的資本投資を拡充に努めるとともに、オペレーションの共通化やDXの推進により、業務効率の改善と省人化の実現を図ります。エネルギー・原材料等のコスト高騰への対応が迫られる中、仕入れの統一化、ソーラーカーポートを活用した自家消費型太陽光発電等、コストの適正化への対応を一層強化します。

次期の見通しとしては、ホテル運営事業の更なるインバウンド需要の取込み等により、通期の業績予想としては、売上高30,000百万円、営業利益3,000百万円、経常利益2,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,050百万円を見込んでおります。

なお、2026年度3月期につきましては年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業価値の更なる増大を目指し、収益性の高い事業への投資に充当するための内部留保の充実を図るとともに、事業環境や業績・財政状態の推移を見据えた上で、配当水準の維持向上に努めております。

当期の1株当たり配当金は期末100円配当を予定しております。また、次期の1株当たり配当金につきましても、期末100円配当の見込みです。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社間及び経年での比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,590	4,100
営業未収入金(純額)	1,824	1,958
商品	121	140
販売用不動産	1,914	2,088
貯蔵品	106	60
その他	1,182	932
流動資産合計	8,740	9,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,038	7,645
機械装置及び運搬具(純額)	531	737
工具、器具及び備品(純額)	620	687
土地	18,605	18,315
リース資産(純額)	1,233	1,006
建設仮勘定	173	169
有形固定資産合計	28,202	28,561
無形固定資産		
のれん	311	258
リース資産	9	79
その他	615	462
無形固定資産合計	936	799
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	1,271	1,053
差入保証金	3,339	3,329
その他(純額)	513	457
投資その他の資産合計	5,124	4,840
固定資産合計	34,263	34,201
資産合計	43,003	43,481

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	373	411
短期借入金	2,000	900
1年内返済予定の長期借入金	3,137	4,278
リース債務	263	243
未払法人税等	148	154
賞与引当金	262	303
役員賞与引当金	20	28
その他	4,129	4,076
流動負債合計	10,335	10,396
固定負債		
長期借入金	8,718	8,783
リース債務	1,159	996
繰延税金負債	23	21
退職給付に係る負債	389	395
従業員特別補償引当金	103	103
資産除去債務	194	196
長期未払金	12	10
長期預り金	87	86
預り保証金	7,311	6,309
固定負債合計	18,001	16,903
負債合計	28,336	27,300
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948	3,948
資本剰余金	2,244	2,267
利益剰余金	8,449	9,955
自己株式	△22	△20
株主資本合計	14,619	16,150
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	15	15
その他の包括利益累計額合計	15	15
非支配株主持分	31	15
純資産合計	14,666	16,181
負債純資産合計	43,003	43,481

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	25,717	28,400
売上原価	7,888	8,208
売上総利益	17,829	20,191
販売費及び一般管理費	15,706	17,510
営業利益	2,122	2,681
営業外収益		
受取利息	0	1
受取保険金	17	67
その他	73	75
営業外収益合計	90	145
営業外費用		
支払利息	165	182
支払手数料	49	62
その他	50	15
営業外費用合計	265	260
経常利益	1,947	2,566
特別利益		
固定資産売却益	2	0
負ののれん発生益	148	—
違約金収入	—	400
その他	11	—
特別利益合計	162	400
特別損失		
減損損失	292	476
固定資産除却損	58	14
固定資産売却損	2	127
従業員特別補償引当金繰入額	117	26
その他	31	9
特別損失合計	501	655
税金等調整前当期純利益	1,608	2,311
法人税、住民税及び事業税	171	140
法人税等調整額	19	215
法人税等合計	191	356
当期純利益	1,417	1,955
非支配株主に帰属する当期純利益	5	5
親会社株主に帰属する当期純利益	1,411	1,950

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	1,417	1,955
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△3	0
その他の包括利益合計	△3	0
包括利益	1,414	1,955
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,408	1,950
非支配株主に係る包括利益	5	5

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,948	2,242	7,313	△21	13,483
当期変動額					
剰余金の配当			△277		△277
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,411		1,411
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		1		1	2
連結子会社株式の取得に よる持分の増減		0	1		2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	1,135	△0	1,136
当期末残高	3,948	2,244	8,449	△22	14,619

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	18	18	25	13,526
当期変動額				
剰余金の配当				△277
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,411
自己株式の取得				△1
自己株式の処分				2
連結子会社株式の取得に よる持分の増減				2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△3	△3	6	3
当期変動額合計	△3	△3	6	1,139
当期末残高	15	15	31	14,666

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,948	2,244	8,449	△22	14,619
当期変動額					
剰余金の配当			△444		△444
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,950		1,950
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		1		1	3
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		21	0		21
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	23	1,505	1	1,530
当期末残高	3,948	2,267	9,955	△20	16,150

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	15	15	31	14,666
当期変動額				
剰余金の配当				△444
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,950
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				3
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動				21
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	0	0	△16	△16
当期変動額合計	0	0	△16	1,514
当期末残高	15	15	15	16,181

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,608	2,311
減価償却費	1,057	1,179
のれん償却額	53	53
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	88	40
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△67	10
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	11	8
従業員特別補償引当金の増減額(△は減少)	94	—
受取利息及び受取配当金	△0	△1
支払利息	165	182
受取保険金	△17	△67
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	127
固定資産除却損	58	14
減損損失	292	476
支払手数料	49	62
負ののれん発生益	△148	—
その他の特別損益(△は益)	—	1
売上債権の増減額(△は増加)	△328	△133
棚卸資産の増減額(△は増加)	71	△102
その他の資産の増減額(△は増加)	575	243
仕入債務の増減額(△は減少)	46	38
未払又は未収消費税等の増減額	82	△236
その他の負債の増減額(△は減少)	255	175
小計	3,945	4,385
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△162	△176
保険金の受取額	28	67
法人税等の支払額	△200	△134
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,610	4,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,026	△2,006
有形固定資産の売却による収入	2	64
無形固定資産の取得による支出	△205	△81
資産除去債務の履行による支出	△10	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△58	—
その他	17	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,280	△2,011
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,484	△1,201
長期借入れによる収入	3,180	4,600
長期借入金の返済による支出	△3,894	△3,291
リース債務の返済による支出	△308	△282
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△277	△443
預り保証金の純増減額(△は減少)	△1,175	△1,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,963	△1,622
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,633	509
現金及び現金同等物の期首残高	5,224	3,590
現金及び現金同等物の期末残高	3,590	4,100

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

**【セグメント情報】**

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは運営事業、開発事業、福利厚生事業、リゾート関連事業及びこれらに付帯するサービスを行っており、さらに運営事業をホテル運営事業とゴルフ運営事業に区分しております。したがって、当社グループは、事業部門を基礎とした事業の種類別セグメントから構成されており、「ホテル運営事業」、「ゴルフ運営事業」、「リソルの森事業」、「福利厚生事業」、「再生エネルギー事業」、「投資再生事業」の6つを報告セグメントとしております。

なお、当連結会計年度より報告セグメントを以下のとおりに変更しております。

(報告セグメントの利益又は損失の測定方法の変更)

当連結会計年度より、経営管理上の管理区分を報告セグメントごとの経営成績へより適切に反映させるため、本社機能における収益及び費用配賦を一部見直すことといたしました。これに伴い、「ホテル運営事業」、「ゴルフ運営事業」、「再生エネルギー事業」および「投資再生事業」の利益又は損失の測定方法の変更を行っております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(報告セグメントの名称変更)

当連結会計年度より、報告セグメントの名称を「リソルの森(CCRC)事業」から「リソルの森事業」に変更しております。このセグメント名称変更による各セグメントの業績に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の名称により作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

I 前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客 への売上高	12,354	8,106	3,658	903	97	596	25,717	—	25,717
(2) セグメン ト間の内部売上 高又は振替高	78	44	41	30	—	12	207	△207	—
計	12,433	8,150	3,700	934	97	608	25,924	△207	25,717
セグメント 利益	1,317	1,051	243	45	22	463	3,144	△1,196	1,947

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,196百万円には、セグメント間取引消去△110百万円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△1,085百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

(注) 2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客 への売上高	14,888	8,357	3,974	965	103	111	28,400	—	28,400
(2) セグメン ト間の内部売上 高又は振替高	93	57	44	36	—	26	258	△258	—
計	14,982	8,415	4,018	1,001	103	138	28,659	△258	28,400
セグメント 利益	2,514	933	304	62	53	22	3,890	△1,323	2,566

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,323百万円には、セグメント間取引消去△197百万円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△1,126百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

(注) 2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	全社	合計
減損損失	43	39	—	—	—	210	—	292

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	全社	合計
減損損失	334	64	—	—	—	77	—	476

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	全社	合計
当期償却額	—	53	—	—	—	—	—	53
当期末残高	—	311	—	—	—	—	—	311

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	全社	合計
当期償却額	—	53	—	—	—	—	—	53
当期末残高	—	258	—	—	—	—	—	258

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

「ゴルフ運営事業」において、当連結会計年度に株式会社入間カントリー倶楽部を取得し連結子会社としました。これに伴い、負ののれん発生益148百万円を計上しております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

(収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合)

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額	連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
一時点で移転される財	12,352	7,745	3,520	210	97	596	24,521	—	24,521
一定の期間にわたり移転される財	2	361	138	693	—	—	1,195	—	1,195
顧客との契約から生じる収益	12,354	8,106	3,658	903	97	596	25,717	—	25,717
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,354	8,106	3,658	903	97	596	25,717	—	25,717

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額	連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生 事業	計		
一時点で移転される財	14,887	7,935	3,837	261	103	111	27,136	—	27,136
一定の期間にわたり移転される財	1	422	136	703	—	—	1,264	—	1,264
顧客との契約から生じる収益	14,888	8,357	3,974	965	103	111	28,400	—	28,400
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,888	8,357	3,974	965	103	111	28,400	—	28,400

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	2,634.33円	2,909.53円
1株当たり当期純利益	254.13円	350.98円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,411	1,950
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1,411	1,950
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,555	5,555

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

(その他)

役員の変動

①代表取締役の変動

該当事項はありません。

②その他の役員の変動

・新任取締役候補者

取締役 佐野 直人  
社外取締役 徳田 誠

・退任予定取締役

社外取締役 海藤 明子

③監査役の変動

該当事項はありません。

④就任及び退任予定日

2025年6月27日

※詳細につきましては、2025年5月8日公表の「役員の変動に関するお知らせ」をご参照ください。